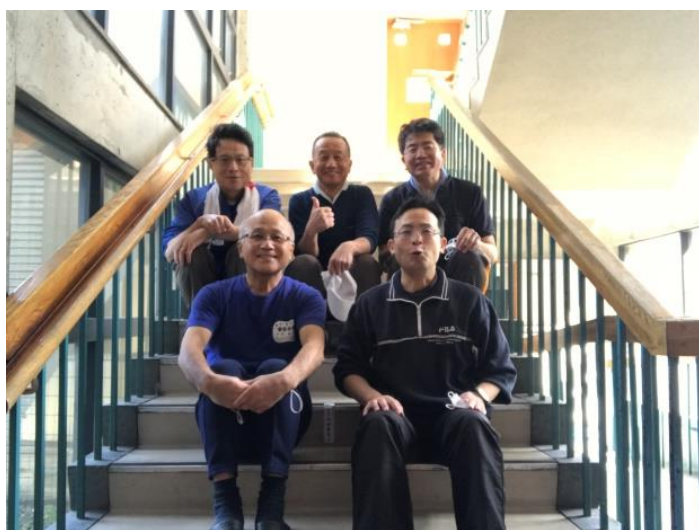


## 第207回 小布施掃除に学ぶ感謝の会 in 小布施町立栗ガ丘小学校

2022年5月8日(日) IF 東男子トイレ

参加者: 日台教頭先生、縄田さん、宮之本さん、木下さん、牛山

今回は日本を美しくする会の縄田様にもご参加いただき、5名でお掃除させていただきました。縄田様は機関紙「清風掃々※」の編集長をされておられ、その使命感と責任感の深さたるや敬服するばかりです。実は清風掃々42号に掲載予定の宮之本さんの取材でおみえになりました。※HPでもご覧いただけます <https://www.souji.jp/webmagazine/>



### ご感想

・以前から小布施掃除に学ぶ会の名前を各所で聞いていて長野県で唯一の会であり、長野県清掃サミットの便教会もあって長野県における双壁です。(牛山から) 9月の掃除に誘われていましたが、宮之本さんの記事の関係もあって参加することができました。ありがとうございました。(縄田さん)

・1人で掃除をするよりも、仲間と一緒に掃除ができることがとても嬉しい。松本から今月も来て良かったなあと心が温かくなりました。(宮之本さん)

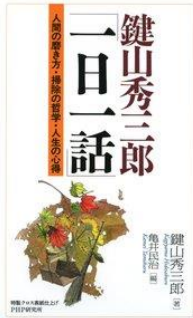
・改築したばかりのトイレだけに便器はコーティングされていて汚れにくくなっていました。ところが、コーティングされていない場所に汚れが集中していました。便利だから手を抜けると思いがちでしたが、違う場所に問題が集まるだけでした。自分が守られている環境こそ目が行き届かないところに目を向けたいと思います。(牛山)

・教頭先生には年度が変わってもご参加いただけて嬉しいです。新しい校長先生にもご理解いただけたと思うのでご挨拶に伺って9月の準備を進めていきます。来月は今日できなかった女子トイレをきれいにさせていただきます。人数が少ないので牛歩の歩みですがけれども確かに進めていきますのでよろしくお願いします。

・掃除に学ぶ会が始まった当時のことや「理論主義と実践主義の落とし穴」の話を聞き、普段の自分を見つめる機会となりました。1年生のトイレで便器だけでなく周りも汚れていたところがきれいになったのでこれ続けていきたいです。(日台教頭先生)

## 理論主義と実践主義の落とし穴!?

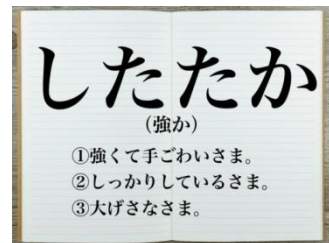
縄田様を中心に理論主義と実践主義の話題で盛り上がりました。掃除実践を重んじる者としては理論よりも実践が重要であるように思います。ところが、実践ばかりに偏るともれなく「自信過剰」というおまけが付いてくるとのことでした。こころなしか鍵山相談役の「一日一話」を読み返してみると、次の言葉に出会いました。



### したたかな人間

したたかな人間になってはいけません。人間は何歳になっても、純情な心の人でありたいものです。そのうえで、小さなことにも傷つきやすく、心ときめかせながら経験していくことが大切です。実践だけで人生を築いてきた人の中には、往々にしてしたたかな人間が多いように思います。したたかな人間は周りの人まで不幸にします。 鍵山秀三郎「一日一話」

私はこの言葉を拝読する度に何故かピンと来ませんでした。恥ずかしながらその理由が「したたか=ずる賢い」という私の勘違いにあることを今ようやく気がつきました。つまり私の語彙力不足(笑)。「したたか」は「強か」と書くそうです。今度は褒め言葉に思えてきますが、鍵山相談役は最後に「周りの人まで不幸にします。」と締めくくられています。この言葉を妻と子どもに知られたら、私に向かって「その通り(怒)」と言われてしまいそうです…。



### あとがき

床磨きを終えた後、教頭先生が何か物足りなさそうな様子でした。そこで、事情を伺うと床の「目地の汚れ」が気になっていたことがわかりました。一瞬、その汚れは落とせないと思いましたが、前回の掃除で歯ブラシを使って汚れを落としたそうです。私も試してみると確かに汚れが落ちます。汚れが落ちないと思っていただけに世界が開けた感じで壁の目地にも目が向き、磨いてみるとやはり落ちました。そうなると汚れを落とさずにはいられません。あの時、自分に執着していたら、今回の展開はありませんでした。

私の「したたか」の解釈もそうですが、執着は人を盲目にさせてしまうこと、そして、的確な対応を間違えてしまうことを今回の掃除に学びました。

次回は6月11日(土)6:00~ 栗ガ丘小学校です。よろしくお願いします。牛山 大輔 拝